

(様式第1号)

平成30年5月1日

認定介護福祉士認証・認定機構  
理事長 大島 伸一 様

領域名：福祉用具と住環境に関する領域

科目名：福祉用具と住環境

単位数：2単位

認証申請する研修の名称：認定介護福祉士養成研修

団体名：一般社団法人京都府介護福祉士会

団体事務所の所在地：〒602-8143

京都市上京区猪熊通丸太町下る仲之町519番地 京都社会福祉会館2階

電話：075-801-8060

FAX：075-801-8083

E-mail：kyoto-kaigofukushi@trust.ocn.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者：(一社) 京都府介護福祉士会

申請責任者：柏本 英子



記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙 1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号 \_\_\_\_\_

(※は記入しないでください)

### 認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成 30 年 5 月 1 日
申請団体名	一般社団法人 京都府介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 柏本 英子
申請責任者職名 申請責任者氏名	認定介護福祉士養成研修担当 岡本 匡弘
団体住所  同 Tel・Fax メールアドレス	〒602-8143 京都市上京区猪熊通丸太町下る仲之町 519 番地 Tel : (075)-(801)-(8060) Fax : (075)-(801)-(8083) E-mail: kyoto-kaigofukushi@trust.ocn.ne.jp
申請対象の領域	領域名： 福祉用具と住環境に関する領域
科目名 (単位数)	科目名：福祉用具と住環境 (2 単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 ( ) 年 認証番号 ( ) 年 認証番号 ( )
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	福祉用具と住環境に関する領域	
科目名	福祉用具と住環境	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉用具に関する知識を習得して支援に活用することができる力を育成する</li> <li>住環境の知識を習得して家族や利用者に改修に関する提案できる力を育成する</li> </ul>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉用具に関する基礎的な知識を習得し、支援に活用できる</li> <li>介護場面に応じて、福祉用具等を選択し、それらを活用した支援技術を習得し、実践できる</li> <li>住環境に関する基本的な知識を習得し、支援に活用できる</li> <li>在宅や施設を問わず、利用者の生活の場となる住環境を評価し、介護場面に応じて改善を提案することができる</li> </ul>	
研修内容 (研修プログラム)	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護場面 (移動・移乗、睡眠、起居、排せつ、入浴、食事、コミュニケーション等) に応じた適切な福祉用具の選定や住環境の整備</li> <li>○福祉用具・生活支援機器・義肢装具・自助具などの種類と機能</li> <li>○利用者の障害の程度による機器の選定方法と、福祉用具を活用する際のリスクの理解</li> <li>○利用者の住環境の評価</li> <li>○利用者が自立生活を送るための障害の状況に応じた住環境の課題と対策</li> </ul>	<p>1日目 (7.5時間)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>福祉用具と介護福祉士のかかわり方 (3時間) <ol style="list-style-type: none"> <li>福祉用具の定義と種類</li> <li>福祉用具の選定</li> <li>福祉用具給付の現状</li> <li>義肢・装具の種類と機能</li> </ol> </li> <li>介護場面における福祉用具の役割・選定・使用方法 <ol style="list-style-type: none"> <li>移動関連用具 (車いす、歩行器、杖) <ol style="list-style-type: none"> <li>① 車いす：分類と特徴、計測、シーティング (パーツ)、操作方法、移乗動作 (1.5時間×2)</li> <li>② 歩行器：分類と特徴、歩行様式 (0.5時間)</li> <li>③ 杖：分類と特徴、計測、歩行様式、介助方法 (1時間)</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> <p>2日目 (7.5時間)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>移乗関連用具 (段差解消器、移乗リフト、スライディングボードなど) (1.5時間)</li> <li>起居関連用具 (寝返り・起き上がり、立ち上がり動作の理解、ベッド及び周辺用具) (2時間)</li> <li>入浴関連用具と排泄関連用具</li> </ol>

	<p>(1.5時間)</p> <p>5) 更衣・食事関連用具(1.5時間)</p> <p>6) コミュニケーション関連用具(1時間)</p> <p>3日目(7.5時間)</p> <p>3. 住環境の評価と対策</p> <p>1) 住環境整備の概要(2.5時間)</p> <p>2) 玄関と廊下(評価と各種移動関連用具の使用に応じた対策)(2時間)</p> <p>3) 浴室(入浴動作の理解、浴室の評価と障害の程度に応じた対策)(1.5時間)</p> <p>4) トイレ(排泄動作の理解、トイレの評価と障害の程度に応じた対策)(1.5時間)</p> <p>4日目(7.5時間)</p> <p>4. 演習とまとめ</p> <p>福祉用具と住環境両方視点を入れた演習とする</p> <p>1) 身体と車いすの測定、車いすの適合と操作(2時間)</p> <p>2) 基本動作(寝返り、起き上がり)とベッド・車いす間などの移乗(2時間)</p> <p>3) 移乗用リフトとスライディングボード等の使用方法(1.5時間)</p> <p>4) 松葉杖とT字杖の適合と歩行様式(1.5時間)</p> <p>5) まとめ(0.5時間)</p>
研修方法	■集合研修
研修時間	30時間(集合研修 30時間)
修了要件	<p>○原則として全課程の出席を要する。やむを得ない事情による遅刻、早退については30分を上限として認める。30分を超える遅刻、早退の場合、別途課されるレポート課題により代替することを可能とする。</p> <p>○評価基準は、別紙のとおり。</p> <p>○欠席の場合は修了を認めない。</p>
講師要件 (講師の選定基準)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること</li> <li>・日常業務で介護職員と共に働いた経験があり、福祉用具・福祉</li> </ul>

	住環境の知見のある方（リハビリテーション専門職（PT、OT、ST）、リハビリテーション工学技師、義肢装具士、福祉住環境コーディネーター1級以上等が望ましい
(2) 受講者について	
受講対象 (受講要件)	特になし
修了評価	筆記試験（50問程度、100点満点中60点以上が合格）
(3) 研修の環境条件	
定員（講師の配置 基準）	40名 講義・演習とも講師で行う。 （専門分野ごとに講師を配置する） 講師の指示のもと演習時にファシリテーターを配置する。
開催場所（都道府 県）	佛教大学二条キャンパス（京都市中京区西ノ京東梅野町7）

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	①令和元年8月3日
	②令和元年8月10日
	③令和元年8月24日
	④令和元年8月25日
開催場所 (会場)	①②③④佛教大学二条キャンパス (京都市中京区西ノ京東梅野町7)
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	<p>①得丸 敬三氏 佛教大学保健医療技術学部理学療法科 准教授</p> <p>担当講義および演習 (15時間)</p> <p>1. 福祉用具と介護福祉士のかかわり方 2. 介護場面における福祉用具の役割・選定・使用方法 4. 演習のまとめ (7.5時間)</p> <p>・学歴 1981.3 高知リハビリテーション学院理学療法学科卒業 1987.3 愛媛大学法文学部法学科卒業 (法学士) 2011.3 神戸大学大学院医学系研究科博士課程後期課程修了 (保健学博士)</p> <p>・資格 理学療法士 運動器系専門理学療法士 生活環境支援系専門理学療法士 介護支援専門員</p> <p>・職歴 1981.4 松山赤十字病院リハビリテーション課 1990.4 // 係長 1994.4 // 課長 1998.4 (医)順天会 放射線第一病院リハビリテーション科 部長 2007.4 佛教大学保健医療技術学部理学療法学科 准教授</p> <p>・教育歴(介護職向けの講習) 2000.9 平成12年度第2回デイサービス家族介護者教室 において「膝の痛み」と題する講演</p>

2000. 9	平成 12 年度愛媛県老人保健施設リハビリスタッフ研修会にて「医療・福祉現場における腰痛症について -予防と自己管理-」と題する講演
2002. 10	「からだ・足・元気で長寿」プロジェクト運動企画・実施責任者
2003. 12	介護職員研修にて「転倒予防について」と題する講演
2004. 7	デイサービスセンターへ職員研修会にて「デイサービスにおけるリハビリテーションの知識と技術の活用」と題する講演
2004. 9	介護予防指導者養成研修において「介護予防事業の取り組みについて」と題する講演
2005. 11	デイサービスセンター職員研修会にて「デイサービスで役立つリハビリテーションの知識と技術」と題する講演
2006. 7	平成 18 年度職員研修会にて「運動器の機能向上に関する評価の意義と実施上の注意点」と題する講演
2007. 3	軽費・ケアハウス職員研修会において「生活リハビリ」と題する講演
2007. 3	デイサービス職員研修会において「利用者様の身体状況を知るために -評価の意義と計測方法について-」と題する講演
	・教育歴(参加者に介護職員も含む講習)
2005. 2	介護 110 番にて「健脚を維持するためのポイント」と題する講演
2005. 10	魚島への講師派遣事業にて「転倒しないために」と題する講演
2006. 1	介護 110 番にて「健脚を維持するポイント」と題する講演
2006. 9	介護 100 番にて「あなたの運動器は大丈夫ですか?」と題する講演
	・教育歴 今治市の私立高校(今治精華高等学校)におけるヘルパー 2 級養成課程における「福祉用具と住環境」を数年担当 その他、介護支援専門員に対する講演などを多数担当する
	・介護に関する著書 得丸敬三:外反母趾に対する簡易装具の製作及び使用経験, 理学療法えひめ(3)7-10, 1989. 得丸敬三:装具の上手な使い方, CLINICIAN(421)40-45, 1993

	<p>得丸敬三, 他: アルミニウムパイプを用いた慢性関節リウマチ用軽量杖, 理学療法学 21(5) 320-325, 1994.</p> <p>得丸敬三, 他: 慢性関節リウマチ用軽量杖, 日本義肢装具学会誌 13(3) 229-283, 1997.</p>
	<p>②鈴木 健二氏</p> <p>担当講義 (7. 5時間)</p> <p>3. 住環境の評価と対策</p> <p>・所属 京都府立大学大学院生命環境科学研究科 准教授 専門分野 高齢者住環境 建築計画 博士 (工学) 一級建築士</p> <p>・学歴 1996年 東北大学工学部卒業 1998年 東北大学大学院博士前期課程修了 2003年 京都大学大学院博士後期課程修了</p> <p>・経歴 2003年 鹿児島大学理工学研究科助手 2007年 鹿児島大学理工学研究科准教授 2012年 京都府立大学生命環境科学研究科准教授</p> <p>・出版 2015年 「介護福祉の組織・制度論」 光生館 共著</p> <p>・教育支援 2003年 作業療法学会講演 2003年 ユニットケア管理者研修会講師 2003～2011年 鹿児島県認知症介護実務者研修講師</p>
(3) 実施体制	
<p>研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)</p>	<p>認定介護福祉士養成研修実行委員会 (常勤: 1名 (予定)、非常勤: 6名) 実行委員会事務局 (担当事務局員、非常勤 2名) 研修実行員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連間や留意点について共有する。 またできる限り研修実行委委員会の委員が研修に参加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の見直しを図る。</p>



研修の企画運営に関する諸 規程	京都府介護福祉士の定款、生涯研修委員会の諸規程に準 ずる。
研修管理責任者職名	京都府介護福祉士会 会長
研修管理責任者氏名	柏本 英子
機構問合せ先部署	一般社団法人京都介護福祉士会 事務局
機構問合せ先担当者氏名	岡本 匡弘
機構問合せ先電話番号/FAX	075-801-8060 / 075-801-8083
機構問合せ先 e-mail アドレス	kyoto-kaigofukushi@trust.ocn.ne.jp
受講問合せ先部署	一般社団法人京都府介護福祉士会 事務局
受講問合せ先担当者氏名	齊藤 晶子
受講問合せ先電話番号/FAX	075-801-8060 / 075-801-8083
受講問合せ先 e-mail アドレス	kyoto-kaigofukushi@trust.ocn.ne.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	京都府介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低 10 年間とし、その後は、紙媒体で 保管する。 ○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、 全課程を修了したのものには、全課程を修了した証明書を発 行する。
管理責任者氏名	柏本 英子 (会長)
管理担当者氏名	齊藤 晶子 (担当の事務局員)